

学科名	学年	授業のタイトル（科目名）	
工業専門課程 情報処理システム科	1年	現代社会論	
授業の種類	授業担当者	実務経験	
☒ 講義 ☒ 演習 ☐ 実習	伊勢本 勝一	☒ 有 ☐ 無	
[実務経験歴]			
・ IT系企業において約30年間、SEとして担当～マネージャに従事 ・ 主に保険会社の業務システムにおいて、要求分析～システム提案、要件定義～導入、保守を担当 ・ データベース設計～構築、サーバサイドAP開発～テスト、UNIX系OSのサーバ構築を実施 ・ 業務改革の要求分析～コンサルテーションを実施			
単位数（授業の回数）	時間数☒	配当時期	必修・選択
2 単位 （ 30 回 ）	60 時間	☐ 前期 ☐ 後期 ☒ 通年	☐ 必修 ☒ 選択
[授業の目的・ねらい]			
基本情報技術者試験の「法務と標準化」分野について学ぶ。 データサイエンスの基礎を学ぶ。			
[授業全体の内容の概要]			
①法務と標準化 ②データサイエンス			
[授業終了時の達成課題(到達目標)]			
各種用語について説明ができる			
[準備学習の具体的な内容]			
復習：講義で説明した用語について説明できるようにする。			
[使用テキスト]		[単位認定の方法及び評価の基準]	
使用テキスト データサイエンス入門 参考文献 IT戦略とマネジメント		定期試験と出席日数の両方が次の規定に達した場合に認定する。 ・試験の点数は60点以上を合格点とする。 ・全出席日数の3分の2以上の出席が必要。 評価基準 定期試験80%、平常点（出席、講義の参加度）20%とする。	
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]			
1回	オリエンテーション（授業の予定）		
2回	企業と法務（知的財産権）		
3回	企業と法務（セキュリティ関連法規）		
4回	企業と法務（労働関連・取引関連法規の請負契約と委任契約）		
5回	下請法，電子消費者契約法		

6回	労働関連演習，その他の関連法規
7回	企業と法務（コンプライアンス，標準化）
8回	まとめと振り返り
9回	データサイエンスの概要，情報倫理
10回	データ分析の基礎0（記述統計量）
11回	データ分析の基礎1（ヒストグラム）
12回	データ分析の基礎1（箱ひげ図）
13回	データ分析の基礎3（散布図）
14回	データ分析の基礎4（相関係数）
15回	まとめと振り返り
16回	データ分析の基礎5（回帰直線）
17回	データ分析の基礎6（相関関係／因果関係）1
18回	データ分析の基礎6（相関関係／因果関係）2
19回	データ分析の基礎7（観察，標本調査）
20回	データサイエンスの手法1（クロス集計）
21回	データサイエンスの手法2（回帰分析）検定
22回	まとめと振り返り
23回	データサイエンスの手法2（回帰分析）主成分分析
24回	データサイエンスの手法3（ベイズ推論）
25回	データサイエンスの手法4（アソシエーション分析）
26回	データサイエンスの手法5（クラスタリング）
27回	データサイエンスの手法6（決定木）
28回	データサイエンスの手法7（ニューラルネットワーク）
29回	データサイエンスの手法8（機械学習とAI）
30回	まとめと振り返り